

経営比較分析表（令和5年度決算）

兵庫県相生市 相生市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	その他
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	10	-	ド訓	-
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
27,468	3,424	第2種該当	-	10：1

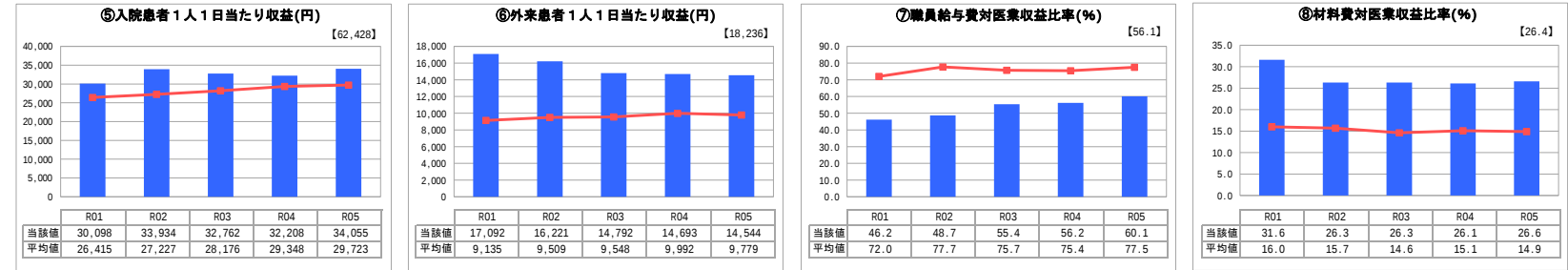
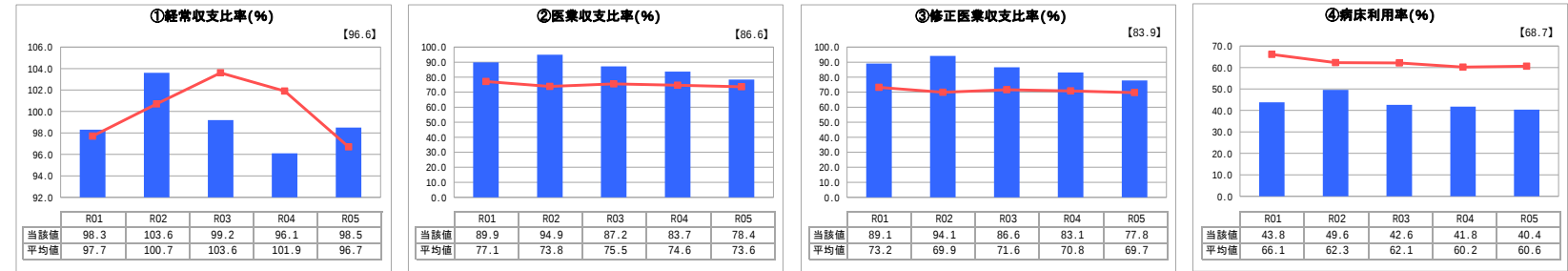
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 ヘ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

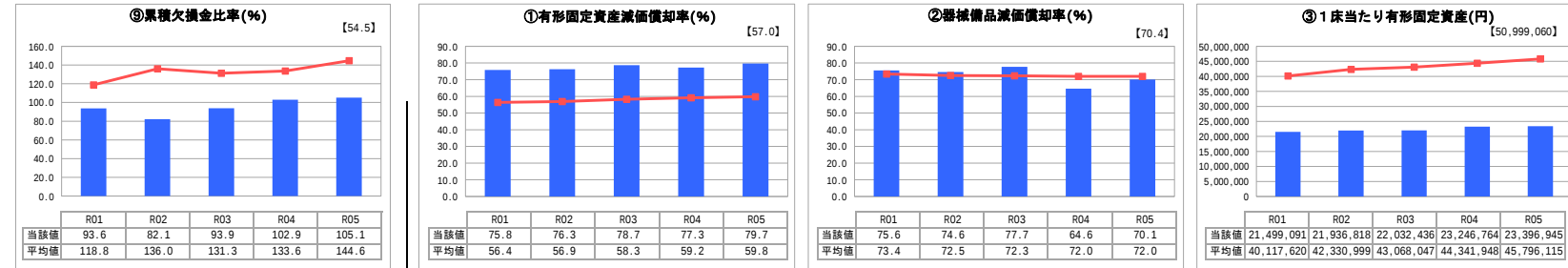
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
55	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	55
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般＋療養）
35	-	35

■ 当該病院値（当該値）
— 類似病院平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 （従来の看護・ネットワーク化を含む）	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

基幹病院及び近隣病院で高度な医療を受けられた後の患者を積極的に受け入れ在宅復帰に向けた医療やリハビリテーションを実施するなど地域包括ケア病床を有効に活用し地域包括ケアシステムの一翼を担っている。

また、高齢者が安心して医療が受けられるよう訪問診療、訪問看護、訪問リハビリを行うとともにかかりつけ病院やプライマリケアの役割を果たしている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和元年度より導入した地域包括ケア病床により入院収益が増加し経営改善に繋がったが新型コロナウイルス感染症等の影響もあり令和3年度以降入院患者が減少し赤字に転化した。

病床利用率は他団体と比べて低い数値であるが稼働病床ベースで算出すると63.5%である。

職員給与費比率は常勤医師が2名であることから他団体と比べ低い数値となっている。なお、令和5年度は退職者の増により退職金が増加したことから例年に比べ高い比率となっている。

外来患者一人当たり収益、材料費対医業収益比率が高い数値であるが当院は内科系疾患患者が多く、長期処方が多いことが影響している。

2. 老朽化の状況について

当院は昭和58年築であり有形固定資産減価償却比率及び器械備品減価償却比率が高い水準で推移している。

医療機器については計画的な更新に努め施設の大規模改修については市からの繰入金を調整しながら実施することとしている。

また、令和5、6年度で空調改修工事を実施している。

全体総括

新型コロナウイルス感染症の影響で患者数が減少し経営状況が悪化している。

経営強化プランによる常勤医師3名体制の構築や患者確保に向けた各種取組により持続可能な運営を目指し地域住民が安心して医療が受けられる体制を確保する。